

東日本大震災復興支援

介援隊の行事に参加して

山下 玉子

介援隊、その趣旨に微力な私も賛同し、4回目だとの事に同行させてもらった。

仮設住宅を車からの外観にも、その狭さに胸が震え、同自治会長宅の、変わり果てた広大な旅館跡地。

中浜小学校その現場は、二階天井までの想像を絶する津波の高さ、周りの地盤沈下の物凄さ、堤防の破壊、なんとも言葉にならない。

津波の通り抜けた校舎のツバメの巣立ち跡が唯一自然の廻りを感じさせ、心温まる事実でした。

自治会(は)タオル等のお見舞いになされた。

普門寺・浄正寺共、当時の現場写真や、話の端々から、よくこれだけに復興したものとその努力に感銘を受けた。特に普門寺住職さんが、墓地から流れ出てさんざん散らばったお骨を集められた小山の骨塚も立派に聳え立ち、真新しい墓も整備されつつあったけれど、彷徨う骨は未知数だろう。

門前には、以前供した桜の若木が今春は花をつけたとか。介援隊のプレートがつけられていた。二寺ともにタオル等を供しお参りした。

翌日は、中野不動尊の洞窟巡り。昔修験者方の道場として穿たれた横穴が枝のように分かれ、単座には36童子が祀られていて、薄明かりの中、前の人を見失わぬように心安らかに巡った。

あずま農園でのサクランボ狩りは、すべての思いを内に秘め、楽しくお腹いっぱい食べた。

なんの役にも立たない私ですが、現地の一部に接し、よい体感を味わいました。

※介援隊について

介援隊は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興に際して、その支援を形にし継続的な活

わたしの川柳

- ★ どっこいしよ 立つも座るも 一言が 志賀多恵子
- ★ 世界一 亡き母つけた にしん漬け
- ★ 亡き母の 味噌汁の味 いまだ出ず
- ★ 透析日 会話飛び交う 茨城弁 塚田 忠
- ★ つらいけど カワイイ 看護師会えるかな



これからの予定

☆第39回 山の集い
 ☆第35回 銀輪の集い
 日時：平成25年10月3日(木)
 日帰りのみの参加です。
 秋色に染まる大子袋田に出かけましょう！詳細は、「かわら版」にてお知らせします。
 ※銀輪の集いは、車椅子の方の集いです。
 ☆文化祭参加 11/2・3・4
 展示・舞台発表(ら・そよかぜ)

動をしておられるグループです。元民生委員さん他の方々を中心に、その時々々の状態に応じて物心両面にわたって支援活動を続けておられます。当会会員として、竹原副会長、今回同行した山下さんが一緒に活動をされています。被災地の方々に早く元の生活に戻れますようにと祈るばかりです。

会のボランティア活動

当会のボランティア活動として二つのグループが活躍しています。それぞれ目的は違いますが、少しでも地域にお役にたてればと張り切っております。



<ら・そよかぜ>
お年寄りの皆さんと楽しく歌を歌ったり、フラダンスをしています。



<クリッピング>
新しく山下さんがお仲間に入り、活動にはずみがつきました。